



昭和十三年十月一日

時局特報

(第三十九號)

極秘

臺灣總督官房外事課

外務部

主要資料名略號

	Canton Daily Sun. D. ....	C. D. S.
	China Weekly Review. W. ....	C. W. R.
	North China Daily News. D. ....	N. C. D. N.
	South China Morning Post. D. ....	S. C. M. P.
支 那	新 聞 報、 日、 .....	新聞報
	申 報、 日、 .....	申報
	廣東七十二行商報、 日、 .....	廣商報
	廣州共和報、 日、 .....	廣和報
	Manila Daily Bulletin. D. ....	M. D. B.
比 律 賓	Philippine Herald. D. ....	P. H.
	Tribune. D. ....	T.
	Opiuion. D. ....	O.
印度支那	Courrier d'Haiphong. D. ....	C. d. H.
暹 羅	Bangkok Times. D. ....	B. T.
	Siam Chronicle. D. ....	S. C.
馬 來	Singapore Free Press. D. ....	S. F. P.
	Straits Times. D. ....	S. T.
蘭領印度	Bataviasch Nieuwsblad. D. ....	B. N.
	Socrabaisch Handelsblad. D. ....	S. H.
其 他	Asie Française (Paris) M. ....	A. F.
	Economist (London) W. ....	E.
	France-Outre-Mer (Paris) .....	F. O. M.
	London Times. W. ....	L. T.
	New York Times. D. ....	N. Y. T.
	Nieuw Rotterdamse Courant. D. ....	N. R. C.
	Statist. (London) W. ....	S.

(備考) D.- Daily, W.- Weekly

日.- 日刊

支 那 . . . . . 一

- 一、王光銘の戦時再建設に關する意見
- 二、香港弗の昂騰
- 三、佛支借款成立説―總額一億五千萬フラン
- 四、安甯當局兩廣當局の土匪討伐を幫助せん
- 五、香港、九龍の抗日空氣漸次濃化
- 六、獻金々々―民衆覺醒の兆か
- 七、日本の奴隸化教育計畫―終には失敗に歸せむ
- 八、宋美齡と劉紀文に纏る秘聞
- 九、日軍占據の城鎮二千二百キロ、戦費七十四億
- 一〇、蔣委員長の兼節禁令に對する感想

比 律 賓 . . . . . 二七

- 一、支那の經濟上の地位は愈々鞏固

臺灣總督官房外事課

- 二、經濟上の行詰りは平和を齎さん

暹 羅 . . . . . 二九

- 一、白系露人及支那婦人の入國激増
- 二、議會の華僑論議に對する脅迫

馬 來 . . . . . 三一

- 一、巡洋艦ケルン、海峽の三支那艦隊旗艦と成る
- 二、海南島租借説否定
- 三、支那への馬來獻品
- 四、馬來食糧管理案具體化
- 五、漢口空、陸路連絡斷絶
- 六、支那共産黨首領配下の戦勝説
- 七、馬來封鎖の際は植物油の自給行はれん

タイプライター用紙

支那

(華僑を含む)

一、王兆銘の戦時再建設に関する意見

國民黨副總裁王兆銘(王精衛)は八月十五日の年次大會放送演説に於て支那戦時再建設に關し豊富なる統計を引用し人口及生産問題を論述した。

王兆銘は冒頭に於てこの問題が軍事行動の豫期された結果として、即ち有力な支那海軍の不存在のため不可避的に沿海諸省の大部分を喪失した結果として當國の問題となつたことを強調した。近代戦争は主として經濟戰であり、軍隊の力は國家の經濟力の影響を受けるものであるからこの問題は更に重要性を増した。廣東、福建の二省を除き、全沿海諸省が日本軍に蹂躪され、しかも支那の金融、工業、貿易及經濟の權益が過去数十年に亘り集中されたのは此等被占領諸省なることは遺憾である。

臺灣總督官房外事課

人口の點から言つて全支那の人口密度は、一九三五年の統計に據れば、一平方千米に付唯三十八人であり、白耳義、英吉利、伊太利等より遙に少い。しかし沿海諸省は人口稠密であり、例へば江蘇省は一平方千米に付二九二人の密度であり、白耳義の二七人より高率である。しかし支那の邊境に於ては一平方千米唯二人の省もある。元來人口密度は或る程度まで生産力及自然的富源の開發により決定せられるが、更に大なる決定要素は經濟的吸収力である。例を四川省と江蘇省とに採るならば四川省の自然的富源及生産可能性は江蘇より豊富である。しかし人口の密度は江蘇の二九二人に對し四川は一七人であり、これは唯前者が後者より經濟的吸収力が大なるためである。それ故に支那の今日直面する最重要の問題は現在をほ支那の管理に在る諸省の自然的富源及生産能力を利用することであり依つて以て支那の抵抗力再建設の基礎とすることである。しかし如何にすれば

タイプライター用紙

よく現在なほ支那の支配中にある諸省が支那の經濟力を維持し得るか。今單に國民の日常生活の主要必要品たる米、小麥、棉及繭に就て及び戰時工業の最重要原料品たる石炭及鐵に就て一九三三年の統計を基礎として考究するに、福建、廣東、廣西、雲南、四川、陝西、湖南、湖北及江西の九省は米、小麥、玉蜀黍を合して毎年三八、四六一、七五〇、〇〇〇噸を生産出し、福建、雲南、四川、甘肅、陝西、湖南、湖北及江西の八省は大麥六、六一四、五九三、〇〇〇噸を生産することが出来る。四川、甘肅、陝西、湖北、湖南及江西の六省は年産額二七二、八一七、〇〇〇噸の棉を生産する。廣東、廣西、四川、湖北及湖南の五省は年産一〇一、七五七、八〇〇噸の繭を生産する。石炭に就て言へば福建、廣東、廣西、雲南、四川、陝西、甘肅、寧夏、新疆、青海、湖南、湖北及江西諸省に於ける石炭埋藏量は總計九七、八〇一、〇〇〇、〇〇〇噸に達する。しかし

臺灣總督官房外事課

此等諸省に於て年産額は近年僅に三、四一三、〇〇〇噸であり即ち全支産額の一〇％に過ぎない。鐵に就て言へば福建、廣東、湖南、江西及湖北に於けるその埋藏量は一一五、六〇八、〇〇〇噸に達する。しかしその合計年産額は七七一、七六五噸であり全支那産出額の三一％である。

右の統計に據り王兆銘は四個の結論を述べた。第一に現在なほ完全に支那の支配下にある西南及西北各省は廣東を除き食糧に於ては目給目足出来る。

第二に棉及織物原料の不足の問題は政府の緊急の關心を要する。棉の生産に於ては北支諸省及江蘇、浙江二省を合計して全支産額の五〇・六％である。唯繭に於ては一八％を占めるのみ西南及西北諸省は從來棉製品は國內の他の地域より供給を仰いで居た。しかし最近武漢地方から奥地に移轉された紡錘は一〇〇、〇〇〇臺に達する。棉花に就て言へば四川は年産僅に三〇

タイフナイター用紙

○、○○○公擔であり、陝西は一、三〇〇、〇〇〇公擔である。第三に東北及北支諸省の石炭はその埋蔵量全支の五七八万でありその産額亦全支の七九万である。故に石炭は相當不足であらう。

第四には鐵も同様不足であらう。何となれば東北及北支諸省は全支埋蔵量の八三万であり全支産額の四七万である。かかる事情にあるを以て王兆銘は全國民は犠牲的精神を以て節約運動を限度にまで押進しなければならぬことを強調した。即ち國民全體として國家の經濟的福利増進の問題に對し他の問題より以上に關心が持たねばならぬといふ意味に於て積極的でないければならぬ。かかる必需品の不足に對應するためには國の生産を各省夫々の思ひ思ひの生産事業として放任することなく統制監督することが重要である。この目的を達成するためには現時に於ける支那の再建設は必ず國家全體としての再建設でなければならぬ。

臺灣總督官房外事課

各省が獨立し、より大なる國家的必要を考慮しないことは物資及勞力の消耗に過ぎないであらう。上に引用せられた統計よりして各省はある種の産物に於ては豊富であり、或る種の産物に於ては缺乏してゐることを知り得るであらう。故に現在なほ支那の支配にある全地境を自給自足ならしめるには、各省が互無相通ずることを目的とする調整的統制的建設計畫が必要である。

支那の戦時再建設は産業開發に集中されねばならぬ。産業の發展なくしては自然的富源は開發せらるることなく、農産物は改良せられることなし。而して最後に王兆銘は産業開發の必要條件は海外から直ちに機械を購入すること、技術者を總動員すること、交通を迅速に發達させること、政治を公明ならしめること等であると結論した。(一九・三一〇D B)

## 二、香港弗の昂騰

國民政府立法院立法委員兼經濟委員會委員長にして當代支那唯一の經濟學者馬寅初 (Ma Yin-Chu) は香港弗の昂騰の原因は全く貿易の逆調であることを指摘した。

彼の説くところによれば、投資者の煽り、資本の逃避、避難民の殺到等は香港弗昂騰の比較的重要ならざる理由であり、主原因は政府の外國爲替管理及び廣東のみにて全國の甚大な貿易逆調の不利を背負ふて來た事實に基因する。昨年八月十三日上海暴變の勃發以來及揚子江並に支那沿岸の封鎖以來、廣東は湖南、湖北、四川及江四各省に對し國內主要輸出入港になつた。本年第一、四半期(一—三月)に於て廣州の毎月平均輸入額は三千九百萬元、同平均輸出額は千八十八萬元で、即ち二千八百二十萬元の入超である。かかる輸出額を以てしては外國爲替は昂騰せざるを得なかつた。更に廣州に於ける輸入貿易の七十%は

### 臺灣總督官房外事課

外國商社の掌握するところであり、唯二七%のみ香港に在る支那代理店の手中に在る。唯輸入額の三%のみが外國からの直輸入である。廣東に於ける外國商社のすべての勘定は香港弗を以て決済せられた香港に在る支那輸入商人の勘定の九十八%は香港弗を以て決済はれ、唯一小部分が廣東通貨にて決済せられる。

平時に於ては貿易の逆調は海外華僑の送金により差引勘定せられる。しかし戰爭進行中なるため、かかる送金は香港に於て需要に充當せられ、非常に小額のみが廣東奥地に送られた。かかる時國民政府は外國爲替買を制限した。日支暴變勃發以前は一香港弗一國幣一、〇二元であつた。三月十二日以前に於てさへ香港弗一弗に對するプレミアムは唯六仙であつた。しかし外國爲替取引の調節及管理が三月十四日に創始された時、輸入業者は大量に米弗、磅貨及香港弗等の外貨買を始めた。或は他の

輸入業者は將來外國爲替を手に入れることが不可能になりはしないかと先を見越して大量の輸入品を買ひ入れた。これが香港幣を漸次に昂騰させる結果となつた。

重慶、漢口及廣東に爲替管理が開始せられるや、利用し得べき外國爲替が政府により吸收されることを恐れる輸入業者間ニパニックが襲來し、狂氣の如き外國爲替の争奪が續いた。三月十二日より六月十五日に至る三ヶ月間に香港幣は五〇多圓貴し六月十八日には香港幣一弗に對しプレミアムは五九、二仙まで上つた。

この情勢に對應するため國民政府の採るべき最も機宜に對する方策は輸出入貿易を有効に管理することである。これは外國爲替昂騰の主要原因をなす貿易逆差を停止するに効果的であらう。馬寅初は國幣元の平價切下げに對しては反對である。平價の切下げは輸入品の價値を騰貴せしめその輸入を自動的に阻止

臺灣總督官房外事課

する効果はあらうけれども、同時に必需品の價格を騰貴せしめる結果となり、更にその上、一般的パニックを招來するであらう。資本は逃避し、投資者流は更に大々的に市場を掘ることが出来ることになり、海外準備の送金はなほ一層減少するであらう。そんなことになれば、貨幣の單位價値の切下げは歴史的輸入超過により惹起された外國爲替騰貴問題の解決に役立たないと思へてゐる。

(九・七I O D S)

(註)

- 一九三八年九月六日に於ける爲替相場(買)
- 香港幣一〇〇弗一圓一八一・二〇元
- 香港幣一〇〇弗一廣東幣二五〇・九〇元
- 國幣一〇〇元一廣東幣一四四・〇〇元
- 廣西紙幣一〇〇元一廣東幣一六八・八〇元

タイフンライター用紙



### 三、佛支借款成立説―總額一億五千萬フラン

某方面より出でたる消息に據れば、佛支借款は已に成立した趣であるが、右は宋子文を主班とする中法建設公司代表と、佛國の金融銀行團代表とか巴重に於て、契約調印を爲したものである。右借款總額は一億五千萬フランと言はれ、桂滇鐵道（廣西、雲南兩省を聯絡する鐵道）の敷設經費に充當せらるべきことになつてゐる。而して其の支拂方法は、現金支拂を三千萬フランとし、目餘の大部分たる一億二千萬フランは、鐵道材料を換價の上提供する筈である。又此の借款は、鹽稅並に同級鐵道將來の收入を以て其の抵當物件とし、其の利率は年利七分とし、借款成立後十二月以内、元利を年賦償還すべきことになつてゐると、又別な消息に據れば、支那中央政府は、積極的に桂滇鐵道を敷設せむが爲めに、已に中法建設公司を設立し、同公司は最近已に事業を開始した由であるから前段ニュースは先づ

### 臺灣總督官房外事課

確實のものと思はれる。

（八・二三―華美晚報）

### 四、安南當局兩廣當局的土匪討伐を幫助せん

（廣東通信） 廣東省軍政當局は、對日抗戰以來中央政府の趣旨に従つて、省内の土匪を掃蕩すべく、種々の討伐方法を定め、積極的に之を實施して來たが、其の成績は先づ悪しからず即ち已に大部隊土匪の約七・八割を殲滅し、又小部隊の土匪群も之に惧れて殆んど其の影を沒するに至つた趣であるが、唯だ蘇有和なる者を頭目とする欽州地方十萬大山の大部隊土匪約七百餘名は、兩廣軍政當局が會て之を懷柔利用して他處の土匪群を討伐せしめたことがあつた爲めか、其の態度は甚だ遜大であつた。彼等匪群は常に峻嶺密林に據つて、兩廣の官軍に抗戦したるのみならず、邊境地方にも出没して其の變行を擅にして來た。即ち昨年末廣西省軍政當局は會て、前記蘇有和匪群を懷

染し、其の歸順を懲罰して成功したから直に匪首蘇有和に團長職を與へ、且つ毎日其の部下をして正規の軍事訓練を受けしめてみたが、彼等は來の上匪性には容易に改まらず遂に同省正規軍が對日抗戰參加の爲めに前線へ向つて動員して往つた直後を窺ひ、兵變を起し再び入山してしまつた。於是乎廣西省當局は大に怒り一面官軍數千人を遣派して追跡せしめ、入山一大殲滅戰を行はしめて來たが、他而廣東及安南當局に對しても出兵沒戰を求めるところがあつた。安南政府としては蘇有和土匪群が從來よく、佛支國境地方を荒して來たことにも顧み、早速之を快諾し、兎も角邊境地點に伏兵して敗戦匪群の退路を遮断しつ掃蕩するの役割を引受け、又廣東當局に至つては、管内防城縣の被害が殊に甚しかつたことでもあり、直に之を快諾し、已に大部隊を派遣し廣西省軍隊と協力して入山、掃蕩に勵みつつありと。

(一八・一六一新聞日報)

### 臺灣總督官房外事課

#### 五、香港九龍の抗日漸次濶化

(香港通信) 一香港及九龍にありては、茲數週間來、抗日空氣愈々濃厚となり、現に幾度も此の種抗日的示威運動が行はれたるが、幸にも不祥事件が起らなかつた。蓋し既往は兎も角として、最近の八月中だけでも、前後二回發生した。第一次の示威運動は八月八日に行はれたもので、其の當時多數の在留支那人が集合して隊伍を組み、主として九龍側の住宅區域を遊行してゐたが、間もなく英國側の警察當局に探知され、解散されてしまつた。而して此の示威運動に参加した者は、銘々手に大幅の支那國旗、孫文又は蔣介石の遺肖像並に標語旗等を携行してゐた。其の後八月二十三日にも在留支那人の第二回目の示威運動が行はれたが其の遊行地點は矢張り九龍側であつた。其の當日は九龍支那人街に青天白日旗が高く掲げられ、参加者は例に依つて銘々小國旗を手にし、而も隊伍の先頭には音楽隊があつ

て盛んに支那國歌を吹奏しつつ遊行してゐた。按ずるに香港最近の抗日運動は大方九龍側にて行はれてゐたものであるが、南華日報の報道に據れば、日本同盟通信社の記者も此の點を認めて居り、現に同記者は上海戦後一週年紀念日以来、當地殊に九龍側の抗日運動は益々熾んになつて來たと洩してゐたと云ふ。

（九・三一大美報）

六、獻金々々―民衆覺醒の兆か

（廣東電報）―廣州市内の獻金事務所に、靴磨きの幼童吳成守なる者が居て、終日獻金者並に一般見物人の爲めに、靴を磨いて來たが、彼は其の日の收入全部を獻金事務所に獻金した。彼は百八十五回も靴を磨いて、計二十餘元を取得したとのことであるが、彼は其の獻金の都度獻金證を一枚入手したので、當日の黄昏迄には已に、多數の獻金證を得之を其の衣服に貼付け

臺灣總督官房外事課

て見たるところ、恰かも立派な獻金衣を一枚造り上げたと言ふ。此の幼童は終日働いて倦まず其の上一度も疎に食物を攝らないし、黄昏ともなれば、一日の收入を其の儘獻金してしまふ次第であるから、同事務所監督は酷く之に感激し、銀四十仙を與へ、食事をするやうに憐れしたから、漸く道具箱を携へ、微笑しつつ何處かへ去つて了つた。此の時一般の見物人は誰でも掌を敲いて其の善行を讃へてゐたと、又同獻金事務所には多數の慈善行商人が集つて見物してゐたが、彼等は靴磨き幼童の態度に感激してか、其の賣上代金を獻金し、又見物中の他の男女も遂に先を争つて獻金するに至つたのみならず、通りがかりの某機關職員の如きは立所に十元紙幣を一枚投出し前記蔬菜行商人より野菜一斤を買ひ急いで去つてしまつたと。

（八・一七一毎日譯報）

七、日本の奴隸化教育計畫―終には失敗に歸せむ

ワイプンイター用紙

當上海市教育界の有力者某が、過日大陸報の記者に語つたところによれば、日本僑領の大道（臨時）及維新兩政府は既往數ヶ月以來、當地の支那人學校に敢然日本化教育を施すべく計畫したものの、今迄のところでは少しも具體的成果を挙げ得なかつた。それにも拘らず最近では、南京の偽組織が應と係官を當地に派來し、市内の支那人各級學校に對して日本最良の教科書を採用し並に親日的教授法を用ひるやう、再三再四勸告するところがあつた由ですが、之も今頃では徹底的勸誘が行はれてるだけで、何等効果が擧がらなかつた云々と。又某教育家の脱に據れば、此の種日本化教育計畫失敗の主因は、一面大道（臨時）政府が聲望ある學校長を其の傘下に糾合し依て以て其の好む教育方針を實施せしめ得なかつたし、他面兩政府の教育資金も左程裕福でなかつたことに存すると思はれる。蓋し大道（臨時）及維新兩政府は孰れも非常に一般軍政經費に困つてゐるから、

### 臺灣總督官房外事課

教育方面には自ら大金を費すことが出来ない。噂では浦東、閩北及甯市の各學校は經營資金がなくて、維持出来ないとか傳へられてゐる。のみならず前記三區域の支那人學校は事實上殆んど全部が寺小屋式のものに過ぎないし又新式教科書なんかは全然使はれてゐなかつた。又一説では、維新政府當局は過般上海の某書局をして日本化教科書を印刷せしめむと企てたが、其の後は都合に依つて中止することとなつた。目下維新偽政府が類りに當市諸學校に對し何かしら計畫を進めつつあるけれども一或教育家では假令近き將來に於て何を計畫實施されやうと恐らく成功しませまいと觀てゐる云々と。（八・二〇一譯報）

### 八、宋美齡と劉紀文に纏る秘聞

今を時めく蔣夫人―宋美齡―の過去半生に對する世人の毀譽褒貶は各種各様、或は其の長所を餘り高く肩持つの觀りもあれ

ば、又或は其の短所を剔抉し呪詛し過ぎる嫌もある。記者は茲に公正なる立場を以て其の秘聞の一端を紹介することとする。宋は幼にして米國に留學し數多き風流逸話の種子を殘したが歸國後劉紀文と熾烈なる戀愛關係に落ち白頭同穴の約婚まで誓つた。蓋し劉は當時一翮々たる美少年であつた。

其の後宋は姉慶齡（孫夫人）との往來で當時北伐軍總司令であつた蔣介石と知合ふ様になつた。宋は蔣の青年にして颯爽なる英姿に惚れ込み且つ其の權威の日に高かるを羨慕し、遂に劉との愛情を薄じて蔣に捧げ、間もなくして蔣と正式に婚約した。劉は之を聞いて自殺を企てたが、宋は極力劉を賺め且つ次の二項を堅く約束した。第一は永遠に友誼關係を持続し、出來得る限り劉を援助すること、第二は劉の夫人として自分より美貌の才媛を物色してやることである。劉は事態の挽回すべからざるを諦めて自殺の念を斷ち、宋も民國十七年蔣との結婚式を上海

### 臺灣總督官房外事課

で擧げた。

蔣が國民政府主席就任後、宋は暗中飛躍して劉を上海々關監督に起用すると同時に、上海晏康氏女學校（歐人創設の有名な貴族學校にして専ら顯貴高官の夫人候補者を養成する）から優等卒業生許淑貞を選抜して劉と結婚させた。許は才德兼優の時代的美人にして、劉も今まで宋を愛する全幅の戀情を新夫人に注いだ。上海々關監督は人を羨ましからせる程収入の豊富な職分で、劉の生活も隨つて人生の奢侈を極め、夫婦兩人の浴室營造だけでも十萬の大金を投じ、劉夫人は日々牛乳の沐浴に浸し、其の豪華の程は推して知るべしである。

劉の官職は既に宋美齡の引立による以上、此の機會に乗じて私腹を肥やし巨財を貯めなければ、宋の好意に背くものであると爲し、大いに貪汚不正を働いて莫大なる財産を築き上げた。其の南京市長在任中南京に宏壯なる洋館の邸宅を構へた。當時馮

玉祥も南京に在職中で、粗衣粗食を以て著名なる儉樸家馮は劉の豪華食汚を快しとせず、遂に所もあらうに劉宅の直隣りの空地に茅葺の貧弱なる小屋を作つて其の内に起居し、名札も「劉公館」と云ふ赤銅製大看板と相並んで木製の小さい「馮公館」の表札を掲げ以て劉を諷刺した。或る時劉公館に誕生祝の大宴會の催しがあつて在京の達官要人は相踵きて高貴の禮物を贈つたが、相隣りの馮玉祥は送るに劉紀文の劣跡に對する人民の告訴状や投書を一ぱいに詰込んだ木箱一個を以てした。劉は開けた刹那慄然と青ざめて、哭くにも笑ふにも窮すると云ふエピソードがあつた。

尙ほ劉、宋は疾くに往來を斷絶した由。(八・二六―新報)

〔註〕劉紀文は廣東省東莞縣人、一八八九年生。前清末年日本法政大學に學び革命運動に投じ、一九二三年渡英ケンブリッヂ及ロンドン兩大學に學び一九二六年歸國、廣東大元帥府軍需

臺灣總督官房外事課

司長、廣東省政府農工廳長歴任、一九二七年國民革命軍南京占領後南京市長に、同年蔣介石の下野と共に辭任し、蔣に隨ひて日本に赴く。一九二八年北伐完了後又南京特別市長、一九三〇年上海々關監督に、一九三一年廣東派の反蔣運動に参加し陳友仁應ひて再度日本に赴く。一九三二年廣州市長に、一九三六年廣州市長を辭任、現に廣東省政府委員在任中の者である。〔現代中華民國、滿洲帝國人名鑑の摘要〕。

九、日軍占據の戦線二千二百キロ、戦費七十四億

或る雜誌の見解に依れば、今回の事變で敵人が我國土を蹂躪した戦線の長いことは已に歐洲大戰の記録を突破したと。即ち大戰の時獨逸は用兵七百萬、協約國側の戦線を一千百キロ占領したが結局は惨敗に遭ひ、莫大の賠償金を餘儀なくせしめられた。今回の敵人も正さに意氣揚々として表面上は、北は綏北よ

タイプライター用紙

り甬は錢塘江に至るまで二千二百キロの戦線を占據し、用兵は死傷を除く外百萬乃至日二十萬と稱するも之等敵兵の後方到着ところに我遊撃隊が虎視眈々と其の行動を制肘してゐる。

軍費に對する見積は、敵人に於ける第一回出征一日清戦争一七ヶ月間に二億五千萬圓、第二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第二十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第三十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第四十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第五十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第六十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第七十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第八十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十一回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十二回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十三回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十四回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十五回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十六回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十七回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十八回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第九十九回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、第一百回出征一四ヶ月間に一億九千萬圓、

(八・二五一新報)

### 一〇、蔣委員長の禁煙禁令に對する感想

蔣委員長は財政緊縮中に備み、先きに公務員兼薪(兼職の俸給公費)の支給禁止令を發したることは、官紀肅清の大英断である。記者は無限の欽佩を表すると同時に、在京中常に奇異に

### 臺灣總督官房外事課

感じてゐる一例を思出した。と云ふのは國民黨中央常務委員兼秘書長某氏(譯者註「葉楚傖」)は其の地位權力から云へばソ聯のスターリン氏に匹敵すべき偉大なる新人であるが、洗つて見るとまたまた肩書が夥しくある。曰はく中央執行委員、某部副部長、黨史編纂委員、副主任委員、國民政府委員、某院副院長の如く一身にして六要職を兼任し、表面上は秘書長の俸給のみ支給するも、各兼職の公費車馬費等々合算すれば、驚く勿れ月收四千七百何元になつて居る。この要人は寢食を除く以外の時間は悉く會議に忙殺され、已に二三年も續任して來たが、未だ一度だに彈劾機關監察院から指摘の聲を聞いたことはなかつた。國家の公務は夫々分擔すべき筈のものなるに、どこに一人だけを煩はして五つも六つもの要職を掛持つて貰はねばならぬ必要があらうか? 上層の大委員殿が已に兼薪に北瘦笑んでゐる以上、中下層の委員、公務員に兼薪を許さない理由が立たない

から、遂に模倣因循して今日の如き貪汚の類風を形成したのではなからうか。國民政府の官制に依れば院長、部長級の特任（親任）官は月俸八百元、公費は毎月二萬元まで支出し得ることになつてゐるが故胡漢民が立法院長在任中は、歴來院長、部長の記録を打破し毎月僅か一千元だけ支出して、中央政界の美談として今尚ほ人口に膾炙されてゐる。

若しも革命に努力せること四十年の國民黨總理孫中山にして今尚健在し而して今の黨政各機關の會計簿を閲覽に入れば、必ずや卓を叩いて「後生小子、斯くも公帑を濫費するか」と痛罵するであらう。げに抗戦一年有餘、人民は困窮するも大官は云はずもがな。中、小官も決して人民程の困窮に陥つて居ない。茲に蔣委員長の兼薪禁令發出に際し、政府に速かに類風を掃蕩せられんことを切望して止まない次第である。

（八・一六一新報の小評）

### 臺灣總督官房外事課



比 律 賓

一、支那の經濟上の地位は愈々鞏固

(ワシントン、八月十七日) — 日本軍隊の占領にも拘はらず支那の經濟上の地位は鞏固なるものがある。

當地支那大使王正廷氏の發表したる統計に依ると本年前半期の輸出高は三億二千二百萬弗にして前年の四億八千二百萬弗には劣るが之れが戰時であると云ふことを考へる時それは寧ろ當然にして支那側の經濟上の地位は依然搖ぎなきものであると云へる。

尙支那當局の發表した所では支那政府の歳入は例年の七〇—八〇多である。

(八・一九一P.H.)

二、經濟上の行詰りは平和を齎さん

臺灣總督官房外事課

(ワシントン、八月二十九日) — 外交政策協會は本日次の如きステートメントを發表した。

米國は日本をして戦争を中止さす様努力すべきである。現在日本が軍需用品を購入して居る米國市場以外の地よりそれを手に入れるわけにはいかない。其れ故日支事變を中止さすには米國當局が日本に軍需用品を輸出しないことである。

現在の支那側の政治的統一は確かに日本の進軍を阻止したものであり、此の機に當り米國が日本に軍需用品を輸出しなかつたことは日本をして戦争中止の已むなきに立致らしめるであらう。

(八・三一—P.H.)

過 羅

一、白系露人及支那婦人の入國激増

支那事變勃發以來、殊に最近數ヶ月來上海其他支那各地より白系露人並に支那人の過羅入國者が激増してゐるが、特に婦人の多いのが目立つてゐる。中には單獨渡航の婦人も多數あり、當局は此等單獨渡航の婦人に對しては極力入國拒絶の方針を以つて臨んでゐる。

(八・二四一〇〇)

二、議會の華僑論議に對する脅迫

開會中の過羅議會に於て過羅人労働者保護の意味から外國人(即ち華僑)労働者の排斥案を提議せるナコン・ラーチシマー選出議員ナイ・レーン氏に對して脅迫狀が送付された。同脅迫狀には Nationalist Chinese Association of Siam と署名して

臺灣總督官房外事課

あつた。

尙、過羅無任所大臣ルアン・ウイチット氏が過羅華僑を獨逸に於ける猶太人に比較して講演を行つた事實が議會の問題となり、議員ナイ・リアン氏が斯くの如き講演は國交上面白からずとして議會に於て政府の責任を追究して、過羅政界に大渦紋を激發した際、ナイ・リアン氏を稱揚し、ルアン・ウイチット氏を攻撃せる過激なパンフレットが廣く配布されたが、此のパンフレットの署名も今回と同一であつた。此の爲め當局は俄に活動を開始して、右團體並に筆者の檢舉に當ることとなつた。

(八・二四一〇〇)

一、巡洋艦ケント號改裝の上支那艦隊旗艦と成る

英國支那艦隊旗艦カムバード號と交替の途次、九、七五

〇屯巡洋艦ケント號が本朝海軍根據地より新嘉坡に投錨した。

カムバード同様ウオシントン級巡洋艦ケント號はカ號同様全く改裝を施したる上八月十六日着星した。

同艦は八月三十日支那艦隊へ向け出港する豫定となつて居り

艦長はL. H. アシユモリアである。前配カ號に代つて支那艦隊司令長官サー・パーシー・ノーブル中將の旗艦となるであらう。

ケント號は八吋砲八門、四吋砲六門、二十一吋水雷發射管八及カタバルト付飛行艇四を備へてゐる。

(八・二四一日)

臺灣總督官房外事課

二、海南島租借説否定

(巴里、八月二十三日)

フランスが海南島の長期間租借權を確保したとの一日本新聞

紙の報道は *Quel Doray* により否定された。

報道によれば、フランスが蔣介石政権に軍事的支持を與ふるを條件として租借が許可されたと。

ケイ・ドルセイ紙上にて新聞通信員は、斯かる交渉に對しては過去に於ても又現在に於ても何等關知する所ではないとロイナルに語つた。

巴里駐在の支那大使館スポークスマンは又海南島に關し支那及フランス間には全然交渉はなかつたと述べてゐる。

日本政府は海南島及印度支那間に位するバラナル島の佛國領有に關する抗議中フランス側の立場に同意したとクエイ・ドルセイ紙は發表してゐる。(アネタ・ハバス)

タイプライター用紙

、パラセル島領有権は今日まで日本により論争されてゐたものである。  
(八・二四一BT)

### 三、支那への馬來賦品

既報の如く、今回馬來よりコレラ豫防ワクチン十六函(二十五萬本の注射液入り)が國際聯盟保健部東局より香港へ向け積出されんとしてゐる。

右は海峽植民地及馬來聯邦政府より聯盟の兩支那向國際ワクチン「ブール」に對する合同寄贈量の半分で、同ワクチンは吉隆坡の醫學研究所に於て調製されたもので、セイロン、漳州、米國及其他多敷國よりの同様寄贈分と共に使用される事となつてゐる。  
(八・二六一BT)

### 四、馬來食糧管理案具體化

## 臺灣總督官房外事課

英領馬來が一朝有事の際食糧管理案を立案したとの暗示が漸く云爲される様になつた。

八月二十六日官報告示によれば、馬來交官シー・エイ・ヅリーランドは食糧管理に關聯する特別任務に任命發表された。本件は玆ヶ月前立法會議に提示された豫算に於て食糧管理計畫の任に當る專任書記に任命を見てゐたものである。

かくてヅ氏の任命は戦争勃發の際英領馬來の食糧需要量從て適當なる供給の保證に關する完全なる調査に關聯して最近内々に行はれてゐた仕事を續行するものである。

最近作成された規則によれば卸小賣米商をして米の買入高及ストックを定期に報告せしめる様になつてゐる。

右報告書は當局をして新嘉坡に於ける米の平時消費量及平均繰越ストックを推算せしめる爲めである。

此による封鎖敢行の際、英領馬來の食糧資源は當領が専ら海

外よりの輸入に依存してゐるに徴して高率の課税が行はれるであらうとの恐怖が始終彼せられてゐる。

最近農務經濟技師 D. H. グリスタは現在馬來は嘗へ米の輸入が依然として統計には大量となつてゐるが、必須食糧の需要量の半餘をよく栽培してゐると推算した。聯邦に於ては新米田擴張大計畫が進行中である。(八・二七―BT)

### 五、漢口空・陸路連絡

(漢口、八月二十八日)

漢口は外部との陸路、空路連絡は印度支那を經由するもの外、遮断された。

右は日本軍機が支那國立航空會社機を空襲した結果で、尙同社機は英領植民地！香港と支那の事實上首都間空路を中止し、厦門―漢口線は今日一時的に遮断し居る故、今日同市は南支那

### 臺灣總督官房外事課

及海路による交通の便は皆無となつた。(八・二九―BT)

### 六、支那共產首領配下の戦勝談

(漢口、航空便)

共產黨首領及共産黨第八路軍の「小ナポレオン」と呼ぶ CHEN HOH の右腕 CHU YU HSIANG は支那は現抗日戦に終局の勝利を確信してゐると。

日本を屈服せしむる爲には三年間を必要とし、長期となれば日本に政治革命を惹起せしむるに至るであらうと。

戦後、支那は外國投資を要する若し今次戦争に勝利を得れば對等の地位に於て諸外國に比肩し行く大國家となるであらう。「ナヨン」は三十八才で、曾て佛蘭西の支那共產黨創設者の一員で、獨逸及日本にも勉學したことがある。

(ロイテル)

(八・三一―BT)



七、馬來封鎖の際には植物油の自給行はれん

(吉隆坡、八月三十日)

萬一英領馬來が經濟封鎖され、同領石油の輸入が杜絶しても現に使用中の數千を致ふる石油エンジンは古々椰子油を以て運轉し續けることが出来る。

海峽植民地及馬來聯邦農務當局は近年エンジン燃料として領内産植物油の用途に研究調査の歩を進め、一朝有事の際英領馬來の迅速に發展しつつある油椰子産業及同古々椰子園はこの目的の爲に利用し得ることが判明してゐたのである。

同局出版に係る「The Oil Palm in Malaya」には結論として油椰子油は水分及塵芥なく、品質佳良である。給油タンクに液壓を維持するため特殊の Oxidation が入用である。

平時植物油は生蠟燭の如何を問はず、燭油よりも高價である。例へば油椰子油は本年三月屯當り約一〇六弗、古々椰子油同一

臺灣總督官房外事課

三〇弗を唱へ、ニツバ油は昨今財政的不如意によるニツバ蒸餾株式会社の開鎖以來製産されて居らない。

ディーゼル及半ディーゼル用ボルネオ、スマトラより輸入の原油は馬來に於ては僅か屯約四〇弗で賣られてゐる。植物油は酸素含有量大なる爲め之れと同一の結果を得んとすれば大量に消費せねばならず、水素と化合すれば酸素は水となり、發熱價値を低下する。

之は停止エンジンには大なる障害にならないであらうが、燃料油貯藏室が極度に制限せられる海上機關では問題である。

石油エンジンは専ら鑛山、ゴム園、發電所及其他陸海工場に使用されてゐる。最近はその數年々増加し、英領馬來の錫鑛山二千に對し、グラブニル、ポンプ、モニター及燈火用發電機の動力を供するもので、この外昨年馬來聯邦に使用され居る原動機、石油機關、蒸汽發生機、ガス機關及水力タービン一、六

七七台、右總計三三二、三一五馬力がある。  
 就中石油機關は二、〇〇一台で、一五三、五四八馬力を有し  
 又錫嶺山に使用されてゐる原動機一、三〇〇台の中、一、〇七  
 八台即ち一二七、九五六馬力は石油機關となつてゐる。  
 昨年馬來聯邦に於ける其他産業に使用中の石油機關の分布狀  
 況は次の通りである。

農業用一六九二台（一三、三四三馬力）  
 一般一四一台（五、〇五一馬力）  
 政府用（主に發電所）一九〇台（七、一八九馬力）  
 前掲數字は前年（一九三六年）に比較し三七六台の増加であ  
 る。

四年前英領馬來にディーゼル機關付トラックが紹介されてか  
 ら、二五〇台輸入せられ、本表に加増された。支那に於て大豆  
 油が煤油より廉價なる地方で、數千の軍用及傷病車トラック

臺灣總督官房外事課

は大豆油で運行してゐる。

昨年馬來はディーゼル油一二一、五八二屯、四、六四二、七  
 八八弗（一九三六年八三、七〇〇屯、九八四、〇〇〇弗）を  
 輸入した。是等は皆一端緩急あれば領内植物油によつて置き換  
 へることが出来る。

馬來椰子油事業の驚異的發展は馬來聯邦よりの右輸出數量に  
 よつても明瞭である。

一九三四年	一〇、五七五屯	一、一三二、五八三弗
一九三五年	一五、八二九屯	二、〇一二、八八八弗
一九三六年	二一、四一二屯	二、八七八、六〇七弗
一九三七年	二九、六〇〇屯	三、九三八、二二六弗

尙馬來全體からは昨年約四三、〇〇〇屯が輸出され、一九三  
 六年よりは殆んど一四、〇〇〇屯の増加である。右數字は領内  
 消費が石鹼消費を除く全然使用し居らぬ故油椰子油の全生産量

タイプライター用紙

と看做すことが出来る。

然し古々椰子油産出量は推測すること不可能である。領内消費量はコブラの八八・九一五中（九・五三〇・三四七弗）に加ふるに昨平馬來聯邦に對し輸出数量一〇九屯（二四・〇〇〇弗）よりは夥だしく大であると信ぜられる。英領馬來には古々椰子の栽培面積は六〇〇・〇〇〇英反である。

（八・三一〇）

臺灣總督官房外事課

タイプライター用紙

